

With 通信



社会福祉法人ウィズ

同じ時代を生きる者として、共に支え合いながら、
生きている喜びを見出せる暮らしができる社会を目指す。



特集 事業所紹介「じょい」 自立訓練 自分らしい未来へ一歩ずつ

理事長あいさつ

ういずの日

施設見学

ウィズまつりお知らせ

研修報告

- ・世話人研修
- ・安全運転管理者講習
- ・凸凹を抱えた大人の
生きづらさと周囲の関わりのヒント

委員会活動報告

- ・虐待防止委員会
- ・BCP委員会
- ・衛生委員会

事業所行事

- ・福祉こどもまつり
- ・BBQ
- ・プラネタリウム

頑張った先にある達成感、支え合いの先にある安心

理事長 三好 恵里子

就労事業所やグループホームなどの事業所数が他地域と同様、長生圏域でも多くなっています。利用者がより自分に合った事業所を選べるということでは、良い時代となったと思います。しかし一方、報道されているように、利潤を第一に考えて利用者をコマとして扱う事業所が増えていることも危惧するところです。長生圏域では、高齢者率34.9%障害者率は5.5%(Gemini情報・公表されている数から計算しても同様値でした)と福祉を必要とされる方が増加する一方、市町村の財源や担い手不足など課題が多くなっています。その中でウィズは微力ながら、その人に適した必要な関わりができる事業所でありたいと思います。

話は変わりますが、先日一切径山（福島県）に登り、自然を楽しんできました。勿論クマ対策の鈴やらスプレー等携帯しながらです。「ハイキングレベルの山だよ！」と言われながらも、歩くことの少ない生活&不整脈&膝の靱帯を切っている者にとっては、なかなかの登山。休み休み、時間をかけながらの山頂からの五色沼（魔女の瞳）に癒やされました。頑張った先の景色は、仕事で頑張った後に辿り着いた満足感・達成感と同じものがありました。体を壊すような働き方は論外ですが、若い職員たちには少し頑張るくらいの仕事の仕方をして、達成感や自分の成長、仕事の楽しさを感じてもらえたらと思います。一方、家族や友人との時間、あるいは一人の時間も大切に、たくさんの経験や楽しい時間、満たされた生活を送って欲しいと思います。それが、他の人にも優しくできることや人生を豊かにすることにつながると信じています。バランス良く「遊べ！休め！働け！」のウィズです。

この記事を書き終えたところで8月13日、千葉県では豪雨があり、至るところで浸水・土砂崩れがあり、電車は止まり、通行止めの道も多くありました。皆さまからご心配いただきありがとうございます。今回一宮川の氾濫はなく、当法人内では幸いにも被害はありませんでした。しかしながら茂原市も冠水場所が多数あり、水没した車など道に放置されており通行止めが多い状況でした。14日千葉市に行っていた利用者からSOS。電車が止まっており車で途中まで迎えに行きましたが、茂原からなかなか出られず、2次災害を考えて断念。千葉市中央区基幹相談支援センター（社会福祉法人りべるたす）に依頼し、りべるたすのグループホームに泊めていただきました。ベッドで寝ることができ、入浴もさせていただいたそうです。圏域を越えたつながりに感謝でした。ありがとうございました。圏域内外で床上浸水となってしまった他法人事業所も多くありました。お見舞い申し上げると共に早い復興をお祈り申し上げます。

じょい 自立訓練

「できる」を増やし自分らしい生活へ

じょいでは、日常生活や就労に向けた力を身につけるため
一人ひとりに合わせたプログラムを提供しています。

あなたの「やってみたい」を応援します！

一人ひとりの
ペースに合わせて
スタッフが
サポートします！



自立訓練のご紹介

目標に合わせて、訓練を行なっています



調理活動

調理の基本を学び
作る楽しさや
達成感を味わえます



コミュニケーション訓練

グループワークや
会話を通して
人との関わり方や
伝える力を養います



日常生活訓練

生活リズムの安定や
身の回りのことを
自分で行う力を
身につけます

この他にも様々なプログラムを用意しています

行事紹介

クレープパーティー

毎週火曜日の午前中に行っている
調理プログラムの一環として開催しました！



午前



午後

生地、フルーツの準備 好きな材料でクレープ作り♪



役割分担をしながら協力して準備し
自分だけのクレープを作りました！
「美味しい」「楽しい」の声とともに
笑顔が溢れる一日となりました。



見学・体験利用 受付中！
訪問支援も行っています

じょいでは生活訓練を行っています。一人ひとりの目標や希望に合わせ、日常生活の力や社会生活に必要なスキルを身につけられるよう支援しています。安心して自分らしい地域生活を送れるよう、一緒に取り組んでいます。

榎本施設長



お問い合わせ



じょい 自立訓練事業所



〒299-4104
千葉県茂原市南吉田1259番地



TEL: 0475-36-3828



FAX: 0475-36-3829

詳しくは
こちら！



世話人研修



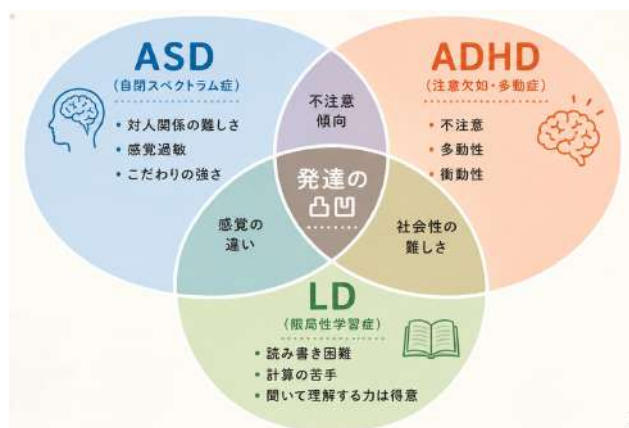
居住部会主催の世話人研修へ参加しました。個別支援計画書に沿って利用者と関わることで、一人で抱え込まず報告・連絡・相談し、職員間で共有する大切さを学びました。他事業所の職員と事例の解決案を出し合い情報交換をする中で、日頃の悩みや戸惑いを打ち明けることができ、気持ちが軽くなりました。また、同じ思いを受け止め合える存在に安心感を覚えました。人との繋がりを大切に、利用者を支えていきたいと考えています。（井桁）

安全運転管理者講習

安全運転管理者講習を受け、交通事故は慣れや油断、睡眠不足や疲労といった日常の小さな積み重ねから起こることを改めて実感しました。さらに、横断歩道での歩行者優先や「ゼブラストップ活動」の大切さも再確認できました。この学びを安全運転管理責任者として職員と共有し、利用者の受診や送迎などの業務で、時間に余裕を持ち、運転と確認を徹底して事故防止に努めていきます。（石井）



発達凸凹を抱えた大人の生きづらさと周囲の関わりのヒント



ウィズは大網白里市内のグループホームも運営しており、そのご縁から山武圏域の研修にも参加しています。研修では、「障がい特性による苦手さ」だけに目を向けるのではなく、「障がいがあってもその人らしく生活する」という視点の大切さを改めて感じました。また、今の困りごとだけでなく、生まれてから現在までのアセスメントを丁寧に行うことが、その人を理解することにつながるという話が印象的でした。さらに、「人間力」で支え合うことの重要性も学びました。これらの学びを日々の実践に生かし、一人ひとりの思いや歩みにしっかり向き合っていきたいと思います。（森岡飛鳥）

施設見学



医療法人社団優仁会

鈴木神経科病院見学



7月の研修では、精神科医療への理解を深めるとともに、精神科医療と地域支援の連携について学び、今後の支援の質の向上に活かすことを目的として鈴木神経科病院の見学を実施しました。

精神科病棟と認知症病棟を見学し、病棟内の設備や治療の進め方、患者さんが日々どのように過ごされているのかを実際に見学することで、精神科病棟の役割や支援の実際について理解を深めることができました。

質疑応答では入院患者さんの1日のスケジュールや患者さんと接する際に心掛けていること、退院がスムーズにいくケースといかないケースの特徴、地域や福祉サービスに期待することなどについてご説明いただき、病院と地域が連携して支援を行う重要性について学ぶ機会となりました。

ご多忙の中、丁寧にご対応いただきました鈴木神経科病院の皆さまに、心より感謝申し上げます。（三好優斗）



参加者感想

患者に対する声掛けは共感的で、症状や行動のみを見るのではなく、感情に焦点を当てた関わりが意識されていること、安全と尊厳の両立を図ろうとする現場の姿勢が感じられました。病院からバトンを託される相談支援専門員の立場として、病院との役割分担を明確にしつつ、適切な情報共有を行い、本人の生活に根差した視点で支援を考えていくことが必要だと学びました。（吉田）

今回の見学で特に感じた事は、患者さんの退院後の生活を支える為には地域との連携が欠かせないという事です。病院で症状が安定しても、退院後の生活が整っていなければ安心して生活する事は出来ません。生活支援員としてARUKUで出来る事、私が出来る声掛け等、自分の支援を振り返る良い機会となりました。（小川）

事業所行事

福祉こどもまつり

5月10日、茂原市社会福祉協議会主催の「福祉こどもまつり」が開催され、EMU、ARUKUが出店しました。当日は、おにぎりやお弁当、お菓子、ドリンクを販売し、多くのお客様にご来店いただき、商品はほぼ完売となる大盛況でした。また、茂原市の市原市長にもお立ち寄りいただきました。販売に参加した利用者の皆さんは笑顔で接客し、地域の方々との交流を楽しみ、充実した一日となりました。（村杉）



長生村プラネタリウム

7月17日（金）、長生村文化会館でプラネタリウム鑑賞レクリエーションを実施しました。利用者12名が参加し、座った途端に眠ってしまう方もいて、周囲のみんながクスクス笑う和やかな時間となりました。「また行きたい」「次は違う内容を見たい」との声もあり、満足度の高い外出となりました。（田中）



ARUKU焼肉パーティー

昨年度より参加費を少し増やしたおかげで、ポテトやサラダなど食材の種類を豊富に用意でき、お肉もたくさん買えて利用者さんもお腹いっぱい楽しめました。車で移動するのではなく、cafeあるくで開催することで、みんなでトランプを楽しみながら和やかな時間を過ごすことができました。利用者さんからは、最後にデザートのカシオネケーキまで食べられて大満足だったとの感想をいただきました。（山本）

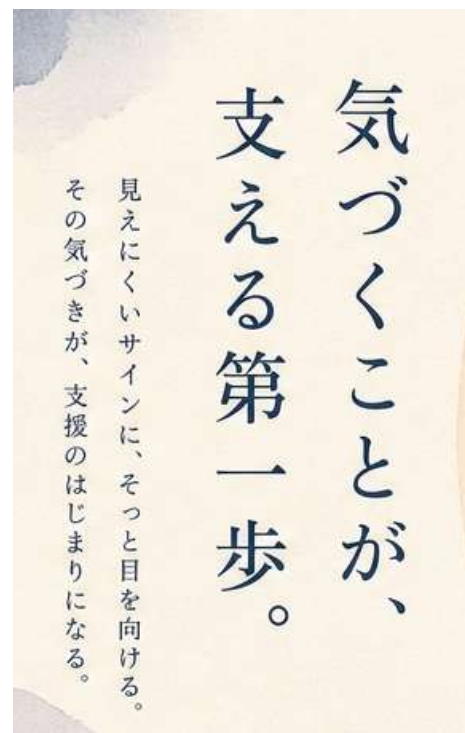


委員会報告

虐待防止委員会

例年通り、各事業所において職員・利用者双方にサービス提供状況についてのアンケートを行いました。職員の回答では、基幹相談支援センターを受託したこともあり、例年より難しいケースが増えたため、支援上の迷いや負担は増加傾向でした。些細なことにも省みれている人も居る一方で、支援上の課題や悩みが無いような回答結果も散見されました。「気づいていない」状態にこそ虐待の目が潜んでいるのではないかと思います。

利用者の回答では「あなたの気持ちを分かってくれますか」という問いに「わからない」と答えた人が17%（全事業所128人中22人）であり、関わりの薄さを象徴しているのではないかと感じました。今回の結果を基に、今後の法人内研修で普段の支援の振り返りを行いたいと思います。（森岡俊）



BCP委員会

8月の千葉豪雨で被災された皆様にお見舞い申し上げます。茂原市の河川整備などにより当方のGHや日中活動事業所は大きな被害を免れましたが、近隣では内水氾濫や土砂災害が発生しました。その影響で安否・避難の確認に追われ、必要に応じた避難体制の確保をおこない状況把握や情報収集に努めました。交通障害による送迎や面談への支障も生じましたが共助し合い乗り切ることができました。気候変動に伴う豪雨災害の増加を見据え、今後も利用者の安全確保と支援を継続できるよう、過去の知見を活かした水害への体制強化を進めてまいります。（高田）



衛生委員会

労働安全衛生法に基づき、毎月1回開催し、法人の労働安全衛生について話合っています。体調不良者やメンタル不調者についての情報共有、更に毎月ひとつのテーマを決め、ポスターを掲示するなど啓発活動を行っています。（藤崎）

5月23日（土）、ほのおか館をお借りして「ういずの日」を開催しました。今年のテーマは「みんなが主役のスペシャルデー」利用者さんは作品づくりや歌の練習に一生懸命取り組み、当日はその成果を堂々と披露し、会場は温かい雰囲気になりました。（実行委員長 田中）



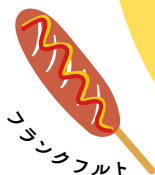
お知らせ



シフォンケーキ



ポップコーン



フランクフルト

ウイズ まつり

2026.11/7 **土** 11:00 - 13:30

場所

相談支援事業所「民堵」

※雨天時 11:00～13:00
東郷福祉センター



焼きそば



クラムチャウダー



【主催】社会福祉法人ウイズ【問い合わせ】0475-47-4437 担当：ARUKU 小川

今年も秋まつりを開催します！利用者と職員が力を合わせて作る手作りのおまつりです。ご家族や地域の皆さんもぜひ遊びに来てください。ワクワクの抽選会もありますよ♪詳細や駐車場はHPまたは、上記連絡先までお願いいたします。（小川）

Thank you!

最後までご覧いただきありがとうございました。

これからを担う若い人材を求めています！

下記HPより詳細をご確認ください。



社会福祉法人ウイズ本部
〒297-0016
千葉県茂原市木崎1300番地1
TEL：0475-47-2600